

西淀川

発行所

近畿税理士会 西淀川支部

〒555-0013

西淀川区千舟2-10-4 西淀川納税協会2階

TEL.(06) 6478-2410

FAX.(06) 6478-2412

発行人 梶 谷 倫 三

編集人 山 岡 学



C O N T E N T S

ごあいさつ 西淀川支部長 梶谷 倫三 2

ごあいさつ 西淀川税務署長 三木 茂樹 3

令和7事務年度 西淀川税務署幹部 定期人事異動転出入者名簿 4

近畿税理士会 西淀川支部 役員名簿 5

はなしの泉

バーチャル万博 松本 知之 6

十年一昔 吉住 隆弘 7

金融教育とは ～価値観の変遷とともに～ 山口 猛男 9

ハイキング同好会 第12回 ハイキング 銭原 浩明 11

第4回 日本酒同好会 お酒日帰り旅を終えて 世古 年幸 13

西淀川支部ゴルフ同好会の発足について 延山 久夫 17



支部研修旅行記

佐藤 真一 18

支部だより・編集後記

20



会員の皆様方におかれましては、平素は支部運営に深いご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去る6月2日の支部定期総会におきまして4期目の支部長に選任されました梶谷倫三でございます。私としては最後のご奉公ととらえ、これからの2年間勤めていきたいと思っています。

今回の支部役員は、将来を見据え若手の先生方を中心をお願いしました。活発な活動を期待しております。

西淀川税務署におかれましても、今回の定期異動で新たに赴任された方々、これから1年間西淀川の良さを感じていただければと願っております。

さて、2025年と言えば、真っ先に思い浮かべるのが2025年問題に象徴される超高齢社会問題です。特に2025年の壁と言われるレガシーシステムと人材不足です。

我々税理士にとりましても決して他人事ではありません。国の施策であるDX化に対応すべく我々税理士も、システムの刷新やクラウド移行、AIの活用等とDX推進に努力はしていますが、関与先の問題もあり、レガシーシステムの壁すなわちシステムの老朽化・複雑化・ブラックボックス化、コストの増大等々により中々ペーパーレス化・キャッシュレス化に全面移行できないのが現状です。

支部のDX化におきましても、予算の関係上制約はありますが改善していく予定です。

あとお願いになりますが、我々税理士は「税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の適正な実現を図ることを使命とする。」という税理士法第1条の遵守と日々研鑽し年間36時間研修の実現をクリアして頂きたいと思っています。

毎日、体験したことのない酷暑の日が続きますが、くれぐれもお身体ご自愛ください。

最後になりますが、皆様方のご事業の益々のご繁栄とご健勝・ご多幸をお祈り申し上げて、私の挨拶といたします。

これから2年間よろしくお願いいたします。

令和7年度表彰

表彰規定第3条第1項第2号該当者

「税理士業務に30年以上従事した者で、
本会の発展に寄与した者」

甲 斐 隆 司 会員

表彰規定第3条第1項第3号該当者

「本会の役員として、その任期を務め
退任した者で、本会の発展に功労があった者」

菊 川 邦 則 会員



残暑厳しい折り柄、近畿税理士会西淀川支部の諸先生方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度の定期人事異動により、西淀川税務署長を拝命いたしました三木でございます。

平素から西淀川支部の諸先生方には、税務行政の円滑な遂行のため、深いご理解と西淀川支部を挙げての多大なご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

また、前任から、西淀川支部と西淀川税務署は、「長きにわたって緊密な協調・信頼関係が保たれている」という「良き伝統」があると伺っております。このような署に、第52代税務署長として勤務できますことを、誠に光栄と存じますとともに、職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。

今後は、この協調・信頼関係を更に発展すべく、全力を挙げて職責を果たして参りたいと存じておりますので、引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、ご承知のとおり、税務行政を取り巻く環境は、経済社会の変化やデジタル技術の急激な進展に伴い日々大きく変化しております。現在、国税庁においては、「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」という将来像に向けて税務行政のDX化を推進し、「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収の効率化・高度化」を図るべく、

e-Taxやキャッシュレス納付等の利用拡大に向けて取り組んでおり、特に、社会全体のDX推進への貢献を図る観点から「事業者のデジタル化」を重要課題として積極的に推奨しているところであります。

「事業者のデジタル化」は、事業者にとっても、経営の効率化、高度化や生産性の向上等が期待でき、取引自体がデジタル化されることにより、取引先等の他の事業者にも同様の効果が生まれ、結果として社会全体でデジタル化の恩恵を享受できるようになることが期待されております。

このような取組みに対応するとともに、「納税者の自発的な納税義務の履行を適切かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たし、任務である内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収を実現するため、西淀川税務署職員が一丸となって最善を尽くす所存でございます。

しかしながら、これらの任務を実現するためには、西淀川支部の諸先生方のご理解とご協力が不可欠でありますので、どうか今後とも、税務行政に対する一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たり、近畿税理士会西淀川支部のますますのご発展と、諸先生方のご健勝、並びにご事業のご繁栄を祈念いたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

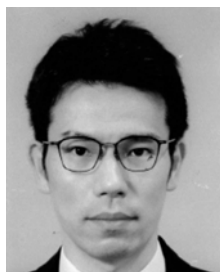
令和7事務年度 西淀川税務署幹部 定期人事異動転出入者名簿

新			旧		
職 名	氏 名	旧任・職名	職 名	氏 名	転出先等
署 長	三木 茂樹	局課税一部 主任訟務官	署 長	岸本 英明	退 職
総 務 課 長	加藤 誠	留 任	総 務 課 長	加藤 誠	留 任
個 人 統 括 官	松浦 ^{ひろし} 祐士	富田林 個人連調官	個 人 統 括 官	林 大介	長浜 個人1統括官
法人1統括官	安田 篤史	三木 法人統括官	法人1統括官	高本 純子	局調査二部 総括主査
法人2統括官	谷口 進次	留 任	法人2統括官	谷口 進次	留 任



〈署長〉

三木 茂樹



〈個人統括官〉

松浦 祐士



〈法人1統括官〉

安田 篤史

不動産売買をご検討中の関与先様を
**日税不動産情報センターに
 ご紹介ください!**

相続不動産の
対策

財産評価
サポート

事業承継不動産
M&A

価格査定
調査

相談無料 **お気軽にご相談ください。** ※案件成約の場合、関与先様から頂いた仲介手数料の20%をご紹介料として先生にお支払いします。

税理士協同組合指定会社

株式会社 日税不動産情報センター **大阪支店**

お問い合わせは **TEL.06-6949-4664** 〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町1丁目5番4号 近畿税理士会館11階

近畿税理士会 西淀川支部 役員名簿

〈令和7年6月7日〉

1. 支部役員

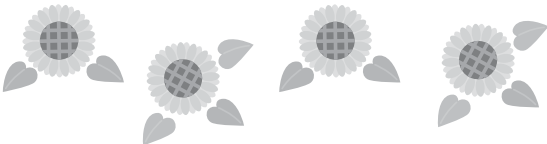
役 職 名	氏 名			
支 部 長	梶谷 倫三			
副 支 部 長	石田 匡美	大坪 利郎	井関 文洋	酒井 勇樹
担当委員会	総 務	情報システム	広 報	厚 生
	経 理	税務支援対策	租税教育推進	綱 紀 監 察
		業務対策研究		
代 表 幹 事	銭原 浩明			
幹 事	入江 桃子	菊川 邦則	佐藤 真一	塩田 宏志
	世古 年幸	銭原 浩明	土本 拡美	仲田むつみ
	八木 重憲	山岡 学	吉住 隆弘	
支 部 監 事	松島萬三孝	横林 史郎		

2. 支部長委嘱顧問及び相談役

役 職 名	氏 名			
顧 問	入江 壽夫	酒井 龍仁	末永 義孝	延山 久夫
相 談 役	長谷川謹一			

3. 委員会担当委員

委 員 会	委 員 長	副委員長	委 員	
総 務	吉住 隆弘	八木 重憲	岸田 朝子	
経 理	入江 桃子	塩田 宏志	三木 千可	
税務支援対策	菊川 邦則	吉住 隆弘	銭原 浩明	
業務対策研究	銭原 浩明		八木 重憲	山岡 学
厚 生	佐藤 真一	山岡 学		
広 報	山岡 学	銭原 浩明	土本 拡美	世古 年幸
綱 紀 監 察	仲田むつみ			
情報システム	塩田 宏志	世古 年幸		
租税教育推進	八木 重憲	土本 拡美	田内 啓子	三木 千可





今年も暑いですね。気象庁の報道によれば、6月の日本の月平均気温は、統計を開始した1898年以降の6月として最も高くなったそうです。エアコンなしでは眠れない日常となっており、既に夏バテ気味です。。。

暑さのピークを迎える7月以降につきましても、全国的に平均気温は平年より高くなることが予想されているようで（昨年よりはやや低めにはなるそうですが）、気が滅入ります。

自分が子供の頃と比較し、どのくらい気温が上昇しているのか気になり調べてみると、約30年前の大阪の7月～9月の平均気温は、27度～28度程度程度でした。これに対して、昨年の大阪の7月～9月の平均気温は29.5度となっており、記録的な猛暑だったそうです（1日の最高気温が35度を超える猛暑日も、30年前と比較して、かなり増加しているようでした）。熱中症リスクが高まっていると思いますので、注意が必要ですね。

そんな中ではありますが、2025年4月13日から「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした大阪・関西万博が開催されています。ネガティブな報道

等もありますが、連日10万人を超える来場者（6月末において累計来場者数1,000万人を突破しているようです）を集めており、賑わいをみせています。一部の人からは気持ち悪いという評価もあった公式キャラクターの「ミャクミャク」についても人気があるようで、品切れとなるミャクミャクグッズもあるそうですね。万博に行かれた方のお話をお聞きすると、日本にいながら様々な国の旅行気分が味わえるなど、高評価の方も多く、通期パスを購入されたというお話もよくお聞きします。我が家の子供もパビリオンを楽しむ時間はあまりなかったようですが、4月後半に小学校の遠足で万博に行くことができました（非常にありがたいです）。

万博は、一生に一度の半年間限定のイベントであり、非常に魅力を感じますね。ただ、私は人ごみが苦手で、かつ、極度の面倒くさがり（チケットの購入、来場日やパビリオンの予約など複雑そう）でもあるため、現地に行くハードルは非常に高いです（昨今の炎天下では尚更ハードルが上がります）。そこで、無料で気軽に楽しめる「バーチャル万博」というものがあるようでしたので、試してみました。「バーチャル万博」では、インターネット上で、大阪・関西万博の世界に入り込むことができ、実際の建物が再現されたパビリオン等を巡りながら、各出展者が展開するバーチャルならではの展示やイベントを楽しむことができるとされています。「バーチャル万博」への参加方法は、パソコンやスマートフォンに公式サイトからアプリをダウンロードするのみで、非常に簡単でした（万博IDを作成の上でログインすれば、データの引継ぎやデジタルスタンプラリーに参加できる等、楽しみ方が増えるそうです）。実際に参加してみると、入場ゲートから実際の万博会場がリアルに再現されており、また、現実の会場の配置に沿ってパビリオンが配置されていることもあり、「バーチャル万博」内を散策するだけで、それなりに万博気分を楽しめます（実際に行く前の予習にもなるそうです）。また、各パビリオンに入ることが可能で、実際の展示物の内容やコンセプトなどを確認することができます。パビリオン内部までリアルに再現されている訳ではなさそうですが、それぞ

れゲーム感覚で楽しむことができました。その他、「バーチャル万博」内で開催されるイベントやパレードへの参加や他のユーザーとの交流が可能であるなど、色々な体験をすることができます。

まだ万博に行かれてない方は（これから行く方も予約で）、気軽に楽しむことができますので、「バーチャル万博」を試してみたいはいかがでしょうか。

以 上



『十年一昔』ということわざがある。

「世の中は移り変わりが激しく、10年も経てば、もう昔のことになってしまう」という意味で使われてきた諺である。技術の進歩により、目まぐるしく変化する現代社会においては10年の進化は相当のものである。古くから使われている『十年一昔』というような感覚では到底ないと思われる。

だいぶ以前の調査になるが2019年8月に、株式会社日本リサーチセンターが「時代のスピード感」につ

日本ICSはIT導入支援事業者です。

＼会計ソフトの買い換えは今！／

IT導入補助金で

最大

450万円おトクに！

申請のサポート・ソフト導入後も安心！



補助金申請書の
提出サポート



他社からの
乗り換えデータ移行

¥0

操作の電話
問い合わせ



バージョンアップ
無料

※通話料はお客様のご負担となります。



日本ICS
TIS INTEC Group

大阪本社
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 6-3-31
うえほんまちハイハイタウン 11F
TEL 06-6773-3881

お問い合わせはこちら ▶▶▶
詳細をご希望の方は日本ICS までご相談ください！
<https://www.icsics.co.jp/contact>



いてインターネットで調べている。18～79歳の男女1200人に対し『一昔』は何年くらいかについてアンケートしている。その調査結果によると、全体では「5年」が32.6%と最も多く、次いで「3年」が18.8%、その次がことわざどおりの「10年」で15.0%となっており、5年以下は合計で75%を占めている。

その一方、年齢を重ねると月日の経つのが非常に速く感じられる。今年も既に半分以上が過ぎている。小さい頃は一日が長く感じられたのに、今はあっという間に一日が終わる。人間の時間感覚の妙である。長い時間も短く感じられ、長期間同じ状態である『十年一日』や、これと反対に、短い時間が長く感じられる『一日千秋』など時間にまつわる慣用句の多いことから時間との関わりの深さがうかがえる。

私自身はどうかというと、平成27年3月に税理士登録をし、西淀川支部に入会してから10年が経った。あっという間の10年でもあり、遠い昔の10年でもある。

入会にあたり、支部長に挨拶に伺うのが社会人としての第一歩と考え、千船駅前の栄久堂吉宗で手土産を買い、末永先生を訪ねた。すると、折角訪ねて来てくれたけど、今度の支部総会で支部長じゃなくなるんだと仰りながらも丁寧に西淀川支部のことを教えてくださり、税理士として活動していく助言をたくさんいただいた。その上、支部旅行にも是非参加するようにとお誘いいただき、右も左も分からぬまま支部総会に出席し、支部旅行に参加した。福井のあわら温泉で宿泊し、恐竜博物館を見学し、敦賀の気比神社などを訪ねた覚えがある。とにかく印象に残っているのは新大阪からバスを利用しての旅行であったが、一日中酒を飲んで、前後不覚に陥りながらも楽しく諸先輩方と過ごしたことである。

大所帯の支部ではなく、皆の顔が分かる西淀川支部に入会して本当に良かったと、10年経った今も思えることが非常に嬉しい。

それにしても、『十年一昔』だ。変わっていないつもりでも、確実に年を取っている。

体力は勿論のこと、最近は気力まで落ちてきた。緑

陰道路の鉄棒にぶら下がったが懸垂もできない。昔なら、こりゃいかんと筋トレでもするのだろうが、そんな気力もない。このまま枯れていくのだろうか。あな、かなし。

ところで、私が入会した2015年はどんな年だったのか、少し調べてみた。安倍晋三が首相として中東諸国を訪問し、過激派組織「イスラム国 (IS)」対策のため金銭支援すると表明したところ、日本人二人がISに拘束され、殺害される映像がインターネットで世界中に公開されるというショッキングな事件から始まった年である。その頃から西淀川にもイスラム教を信仰するムスリムの人たちが増え始め不安を感じたことを覚えている。今では「ニシヨドスタン」と呼ばれるほど外国人の多い町となっている。橋下徹市長が「大阪都構想」を唱えたが住民投票で否決されたのもこの年である。選挙年齢を20歳から18歳に引き下げる改正公職選挙法が可決・成立した。淀商での租税教育で君たちも来年の参議院選挙は投票するんだよと話したことを覚えている。ラグビー日本代表が南アフリカに歴史的な逆転勝利をし、両手を合わせて指を立てるポーズで五郎丸選手が一躍時の人となった。マイナンバー法が施行され「通知カード」の送付が始まった。日経平均株価が一時、ほぼ15年ぶりに2万円台を回復し、日本郵政・ゆうちょ銀行・かんぽ生命保険の郵政3社が上場したのもこの年である。

ちなみに、この年の流行語大賞は「爆買い」である。春節の時期に大挙して中国人が訪日し、日本製品を買いまくった年であった。他には、とにかく明るい安村の「安心してください、穿いてますよ」や、先の「五郎丸ポーズ」が流行語としてあげられる。

こうして振り返ると、本当に『十年一昔』である。今は遙か遠い昔の出来事でしかない。これが『五年一昔』となり、『三年一昔』となるのだろう。

税理士となり10年を経た今、再度気持ちも新たに、いろいろなことに挑戦してみようと、ほんの一瞬だけ思ってみた。

今後の10年は、自分にとってどんな10年となるのだろう。あっという間に過ぎていくだけでない充実した良い時間を紡ぎたい。



広報委員長が銭原先生から山岡先生に代わり初回の投稿なので、僕は真面目な話もできるぞ、というところを見せたいと思う。

ということで早速だが、僕は常識という言葉が嫌いだ。

常識という言葉がしばしば相手からマウントを取るために使われ、思考を無力化するために使われるためだからだと思っている。

「そんな常識やで、グチグチ言わんと言われた通りやれ、アホ」とか「お前は常識がない」とか、散々言われてきた（大体そういうことを言う奴に限って無茶苦茶な奴が多かった、ただし僕の周りではね）。

ただ、常識というものが存在しないということではなく、時代の流れとともに変わっていく価値観が一種の常識のようなものだと思っている。従って人や時代によってバラバラなものであろうと考えている（だから個人でどう解釈・運用しようが勝手やけど人に押し付けてはいけないものである）。

産業構造や経済情勢を例に取り、価値観の変遷を見てみたい。日本の産業構造は、昭和35年あたりから第一次産業が減少し始め、第二・第三次産業が増加し始める。農家の五男坊であった僕の亡父や亡父の兄弟姉妹が集団就職で関西に出てきて製造業等に就いた時期とピッタリ合う。

大学に行けなかった亡父からは事あるごとに「とりあえず大学へ行け」と言われた。昭和40年から昭和52年あたりまで大学への進学率は右肩上がりである。大卒者が勤務先の企業にどんどん入社してくる、そんな流れを亡父は目の当たりにして思うところがあ

ったのだろう。亡父ははっきりと言葉にはしなかったが、そこには価値観の変化があったと言える。

そして僕が大学生の頃はバブルで沸き、すべてが華やかなりし時代。企業に普通に就職し、終身雇用で給料は頑張ったら頑張った分だけ上がり、定年を迎えると退職金をもらって老後を過ごす、本当にそんなことを周りの多くの学生が信じて疑わなかった価値観が主流だったと思う。

企業に就職せずに税理士試験を受けるって周りに言うたら「アイツ頭おかしいで」とか言われたな。

それから三十数年、時代が流れ今はどうか。令和に入ってから給料は多少上昇傾向にあるが、それまではほぼ横ばい。頑張っても給料が上がらない中、若い世代にはタイパ、コスパなる価値観が浸透している。

このように価値観が変わっていく中、金融リテラシーの向上はまだまだと言えるのではないだろうか。そこにはやはり価値観が根底にあると思われる。

1970年から1990年あたりまでは定期預金の金利はおおむね4~8%までのレンジで推移している。僕の親が現役世代、オイルショックがあったものの安定成長期と言われ銀行にお金を預けていればお金は増えていった時代である。そんな時代背景に現役であった親を持つ僕が金融教育を受けているはずもない。投資=悪と思っていたのではないかと思う節すらある。まあ僕の親世代はそれでいいんだろうけども。

ただ、1995年あたりから低金利時代に突入・推移している現在はそうはいかないであろう。

なので、僕はハニーに金融教育をやり始めた、大学生やし。とりあえず、

①複利 ②物価変動と現預金の関係 ③投機と投資は違う

まず、①複利

これは最高の物理学者アインシュタインが「人類最大の発明」「宇宙で最も偉大な力」と呼んだものだ。電卓を叩いて単利と複利の説明をしてやった。

次に ②物価変動と現預金の関係

これはかなり前から色々なところで語られている話で、例えば今現在の預金100万円を何も運用せずにインフレ率X%の状態置いておくとY年後にはいく

らの価値になっているのか？という話。これはハニーの大好きなブランド品を例に取って教えてやった。

次に ③投機と投資は違う

投資＝怖い等と考えるのは投機とごちゃまぜになっているのではないかと思う。例えば短期間の株式売買で利益を得ようとする投機筋と呼ばれる方々が相手になるので、手強いよね。それが投機。投資は中長期の運用である。伝説の個人投資家・竹田和平氏の話が秀逸やな。

余談だが僕は株式を買うお金はないけど新聞を買うお金ぐらいいあるので毎日株価欄だけは見ている。

ハニーには①②③を総合して導かれる最適な金融行動は何かを説明してやった（①と②ぐらいいはホンマは中学か高校でやって欲しい）。

まだまだハニーには色々教えてやりたいことがあるが、頭がパンクしたら可哀想なのでこれぐらいにしてやってる。

ただ、数十年後にはハニーに教えてやったことも新たな価値観の前に崩れ去ってしまうであろう。それは

某覇権国家の衰退か、あるいは資本主義の完全なる破綻を契機に出現するものなのかわからないが、その時には成長したハニーと新たな金融行動を模索したいと思っている。

ハニーよ、僕の老後は君の双肩にかかっている。頼むで。 おしまい



生命保険は、愛する家族への想い。



Gibraltar
ジブラルタ生命

保険に
愛という本質を

そして、保険金をお届けすることが私たちの使命です。

“As safe as the Rock” ～ジブラルタ・ロックのように安心～

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山“ジブラルタ・ロック”が、ジブラルタ生命の社名の由来です。

親会社ブルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである“ジブラルタ・ロック”は、
時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。



ジブラルタ生命保険株式会社 大阪中央支社・大阪中央第五営業所

〒530-0017 大阪市北区角田町8-1 大阪梅田ツインタワーズ・ノース22F tel.06-4709-5004

担当：林 和生（ハシカズオ）

【コールセンター】0120-37-2269 ^{ミナ} ^{ジブ} ^{ロック} 【ジブラルタ生命ホームページ】<https://www.gib-life.co.jp/>

【受付時間】平日 9:00～18:00 土曜 9:00～17:00（日曜・祝日・年末年始を除く）携帯電話・PHSからもご利用いただけます。通話料無料。



令和7年5月10日、雨模様の心配ある中12回目となるハイキング同好会が開催されました。参加人数は18名（同伴者5名含む）でした。

朝7時45分、例の如くS井会計事務所前に集合し目的地まで貸切バスにて移動です。

今回の目的地は京都府南丹市にある「美山かやぶきの里」であります。国の重要伝統的建造物群保存地区であるかやぶき民家が現存する農村や資料館を散策し、鮎釣りで有名な一級水系の由良川沿いをゆったりと歩きました。料理旅館 に到着し入浴を済ましてから、第二の目的である宴会が始まります。会員は元より、奥様方お子様方も大変喜んでいただけた模様でした。帰りに道の駅 新光悦にて各々お土産を購入し、再びバスにて西淀川へ戻り各々無事帰路につかれました。

心配していた天候ですが、皆様の日頃の行いの賜物でしょうか、雨に降られる事なく時より晴れ間が見られた清々しい春の里山を満喫できたと思います。次の目的地はまだ未定ですが、会員の皆様やそのご家族に喜んでいただけるハイキングを企画していきますので、次回も万象お繰り合わせの上、奮ってご参加の程、宜しくお願い申し上げます。

（ハイキング同好会 記）





大同生命大阪本社ビル(大阪市西区江戸堀)
～加島屋が店を構えた地に建つ～

大同生命は1902(明治35)年に創業しました。
中小企業経営者のもしものときの力になりたい。
創業者の一人である広岡浅子が生命保険事業に託した
「社会の救済」と「人々の生活の安定」という想いは、
いまでも大同生命に受け継がれています。



広岡浅子(1849-1919)
～大同生命の創業者の一人～



大同生命の礎を築いた
大坂の豪商「加島屋」



旧肥後橋本社ビル
(設計:W・M・ヴォーリス)

その安心で、企業とともに未来をつくる。

DAI-ICHO 大同生命保険株式会社

さあ、保険の新たな元へ。

T&D 保険グループ

近畿税理士共済北支社/大阪府大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館・大同生命ビル7F)
TEL 06-6943-4915

第4回 日本酒同好会

お酒日帰り旅を終えて

世古 年幸



第4回目はまだ巡っていない兵庫県を会長として選びました。兵庫県だと灘五郷（西郷、御影郷、魚崎郷、西宮郷、今津郷）が有名ですが、有名どころは避けて、海と歴史に育まれた町、そして「西灘」と呼ばれ江戸時代から酒造りが盛んな明石市の酒蔵と明石の老舗料理旅館での温泉入浴とランチプランにいたしました。

西灘には現在6つの酒蔵が残っており、最初はこの中の2つの酒蔵をプランに入れたかったのですが、団体での受け入れをされていなかったり、酒蔵でのイベント開催日などの理由で1か所だけ「明石酒類醸造 海峡蒸留所」を訪問できました。

【1】酒と洋酒が響き合う、海峡蒸留所からスタート

ここを最初の訪問地を選んだのは、日本酒同好会ではまだ足を運んだことがなかったウイスキーの醸造所だったのが大きな理由です。日本酒を醸造している酒蔵が手掛けるウイスキーを味わうことで、より深く酒文化を楽しめるのではないかと考えました。

ここでの試飲は少し変わっており、試飲は有料試飲のみで、試飲後に条件に該当するお酒を購入したら、試飲料金が値引される仕組みでした。

有料試飲には、4つのコースがあり、そのうち事前に試飲したいお酒を選んでもらっていました。私は、日本酒とウイスキーを試飲しました。有料試飲は、どれも個性豊かで、土地の風や香りを感じさせるもので



いい酒蔵に訪問できて良かったと思いました。しかし、私を含めて13名の参加者のうちウイスキー試飲を選ばれた方が意外にも少なかったのは、少しだけ残念でもありました。「日本酒同好会」という名の影響もあるのかもしれませんが、参加費用に含まれているのが1つのコースだけだったのが影響していたかもしれません。

それでも、試飲を楽しまれた方々、1つのコースでは満足できず、追加で有料試飲を楽しまれた方々の満足げな表情、そしてショップでの買い物に夢中になる姿を見るにつけ、この場所を訪れた意味は大きかったと実感しました。

【2】老舗料理旅館「人丸花壇」で、明石の恵みに癒される

今回の訪問地を明石市に決めてから温泉入浴とランチを楽しめる場所をインターネットにて検索をして1番気になったのが今回訪問した老舗旅館「人丸花壇」でした。最初の酒蔵からの移動時間までは調べていなかったのですが、バスで数分の移動に自分でお店を選んでおきながら少し驚きました。



実はこの「人丸花壇」、地元ではその名を知らない人はいないほどの歴史と格式を持つ旅館で、参加者の中には「名前は知っていたけれど、プライベートではなかなか利用する機会がないので、この機会に訪れることができ嬉しい」といった声もあり、企画をして良かったと感じました。

ランチの前にゆったりと天然温泉（有馬の湯）に浸かり、日ごろの疲れを解きほぐしたあとは、「明石鯛と明石蛸の季節会席」に舌鼓を打ちました。せっかくなので、明石ならではの旬食材をふんだんに盛り込んだ会席を選んでおいて良かったです。どの料理にも酒との相性も良く、贅沢なランチを味わうことができました。

【3】文化の香り、「甲南漬資料館」へ

食事を終えての目的地は、「甲南漬資料館」で、まずは資料館として使われている建物の説明から始まりました。昭和5年に建てられた旧高嶋家住宅は、現在では国の登録有形文化財に指定されています。重厚で



土地・不動産売買

不動産の売買を検討されている関与先様が
いらっしゃいましたら、積水ハウス不動産へお任せください。

計画的な資金化が可能 買取制度

「買取制度」とは、当社が直接買い取るシステムです。
お客様の資金調達が容易となり、売却を円滑に進められるメリットがあります。

【当社直接買取のため、仲介手数料不要】 【引渡しタイミングを合わせられます】

※物件によっては買取できない場合もございます。詳しくは下記担当営業所までお問い合わせください。

国土交通大臣免許(13)第2343号
(一社)不動産流通経営協会会員
(一社)不動産協会会員
(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟
(一社)優良ストック住宅推進協議会加盟

積水ハウス不動産株式会社 大阪中央営業所

TEL.06-6440-3796 定休日:土・日・祝日

〒531-6124 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト24階

2025年
2月1日より
社名が変更と
なりました



趣のあるたたずまいからは、かつてこの地に根差した庄家の面影と、時代を超えて大切にされてきた歴史が伝わってきました。「酒に関わる“食”の文化を味わってほしい」との意図から組み込んだ

この訪問先では、酒粕を使った伝統の味「甲南漬（奈良漬）」の歴史や製法を学ぶことができました。展示物を見ながら、酒との深いつながりを実感できたのは、会の趣旨ともよくマッチしていたと思います。

見学後には、買い物時間も設けられ、参加者はお気に入りの品をお土産として手にされておりました。

【4】酒のふるさと「灘浜福鶴蔵」で締めくくる

今回は明石市で1か所の酒蔵しかプランに組み込みなかったのが、最後に訪れたのは、日本を代表する酒処・灘五郷の一角「小山本家 灘浜福鶴蔵」です。

この蔵で何より印象的だったのは、ユーモアを交えながら丁寧に解説してくださる名物案内人さんの存在です。お酒造りの行程について、専門的な内容でありながらも分かりやすく、そして何より楽しく伝えてくださり、参加者一同引き込まれていきました。

見学の途中では、酒造りの行程の一部を体験できるコーナーがあり、そこでは山岡先生が代表して体験に参加してくれました。「酛摺（もとすり）」の工程で、日本酒のもとになる酵母を育てるための工程のひとつのようです。この「酛摺（もとすり）」を行うのは生酛造りの日本酒だけとのことで、その際に「酒造り唄」を唄っていたとのことで、この唄によって作業時間を把握していたようです。

【5】これまでの同好会をふり返って

今回で4回目となる日本酒同好会。

今回で会長職から離れますので、ここで少し、これ

までの活動を振り返ってみたいと思います。

第1回目は、大阪・泉州地域での開催。浪花酒造と北庄司酒造を訪ね、初めての交流イベントとして日本酒の魅力を分かち合う良いきっかけとなりました。

第2回目は、京都・亀岡方面へ。丹山酒造と大石酒造をめぐり、風情ある町並みとともに味わう地酒の美しさに、参加者が心を奪われた印象的な回となりました。

第3回目は、滋賀で開催し、少し趣向を変えて栗東ワイナリーと、老舗酒蔵・藤居本家を訪問。藤居本家では、酒蔵でのランチを楽しみました。日本酒に加えてワインを楽しめる内容で、酒文化の広がりを体感する貴重な機会となりました。

これらの酒蔵はいずれも、いわゆる“有名銘柄”の地域や大手蔵をあえて避け、実際に訪れて「美味しい」と感じた蔵や、事前に酒蔵のホームページなどで丁寧に情報収集したうえで「ぜひ訪れてみたい」と思った蔵を選定してきました。

現地での新しい発見を大切にしたいという想いが、同好会の企画方針のひとつとなっています。こうした試みを積み重ねてきた同好会も、今後の活動をより広げていくために、運営体制を次の世代へ引継ぐタイミングを迎えることになりました。



【6】新会長への引継ぎについて

これまで回を重ねてきた同好会の活動も。今後さらに充実したものにしていくために、新たな体制での運営を進めていくことになりました。

ちなみに次期会長については、少し事情があり、第4回目の開催から少し間が空いた後、支部定例会の日により正式に酒井勇樹先生にお引き受けをいただくことが決まりました。

それを受けて、こちらで引継ぎ事項を整理して改めてお渡しし、今後の活動に向けて準備を進めていただいております。

これまでの開催間隔ですと次回の開催は、今年の秋に開催になるのかなと思っております。

新しい会長のもとで、これからの同好会がどんなふうに展開していくのか、私自身も楽しみにしながら、今後は一参加者として応援していきたいと思っています。

また、必要があればこれまでの経験をもとに、相談にものりながら、酒蔵の情報提供などささやかながら支えていければと考えています。



ゆとりをもって「第二の人生」を送るために 「阪奈積立年金制度」をぜひ、ご活用ください

税理士及び
その従業員が
加入できる
拠出型企業年金保険です

満71歳
まで加入
できます

- ◇月 払 い…1口5千円で2口以上
- ◇一時払い…月払いに加えて
1口10万円で500口まで
- ◇加 入 月…2月、4月、6月、8月、10月、12月 年6回



大阪・奈良税理士協同組合は……

スケールメリットを生かした事業を行い、
その収益を組合員の皆様へ還元しています。

■制度の特色

- ①計画的な老後生活設計
- ②掛金は口数制で自由に設定
- ③年金開始時期は自由に設定
- ④年金種類は年金開始時に自由選択
- ⑤一時金の受取りも可能
- ⑥掛金払込期間中の脱退でも給付

引受保険会社

日本生命(事務幹事) 第一生命
明治安田生命 住友生命 富国生命

問い合わせ先

阪奈税協 事務局
TEL.06-6941-6888



大阪・奈良税理士協同組合

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4(近畿税理士会館11F)
TEL(06)6941-6888 / FAX(06)6947-2800 URL : <http://www.hanna-zeikyo.jp>



西淀川支部 ゴルフ同好会の 発足について

延山 久夫



今般、西淀川支部におきましてゴルフ同好会が発足しました。会の名前は「西蘭会」です。

行動力のある若手税理士が中心になって設立・運営され、支部の活動が活発になることに少しでも応援出来ればと思っています。

なるべく、低料金で参加しやすい方向で運営していけば、長く続いて行くように思います。

第1回のコンペが6月24日にヤマトカントリークラブで30代から70代の13名の参加者で行われました。

当日は雨が降ったりやんだりコンディションは大変でしたが和気あいあいとした雰囲気プレーし、参加者も楽しい時間が過ごせたと思います。

日本政策金融公庫

国民生活事業のご案内

わたしたちは、地域の皆さまのための政策金融機関です。



- ・セーフティネット・
- ・創業・
- ・ソーシャルビジネス・
- ・海外展開・
- ・事業再生・
- ・事業承継・

日本公庫では、事業資金融資、国の教育ローンなどのほか、経営に関する様々な情報を提供しています。

十三支店（国民生活事業）又は専用相談ダイヤルにお気軽にご相談ください。

日本政策金融公庫十三支店国民生活事業

TEL : 0570-065530

日本公庫

検索

<http://www.jfc.go.jp/>

事業資金融資に関するご相談

国の教育ローンに関するご相談

事業資金相談ダイヤル

行こうよ！公庫

0120-154-505

平日9時～19時

※土日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用いただけません。

教育ローンコールセンター

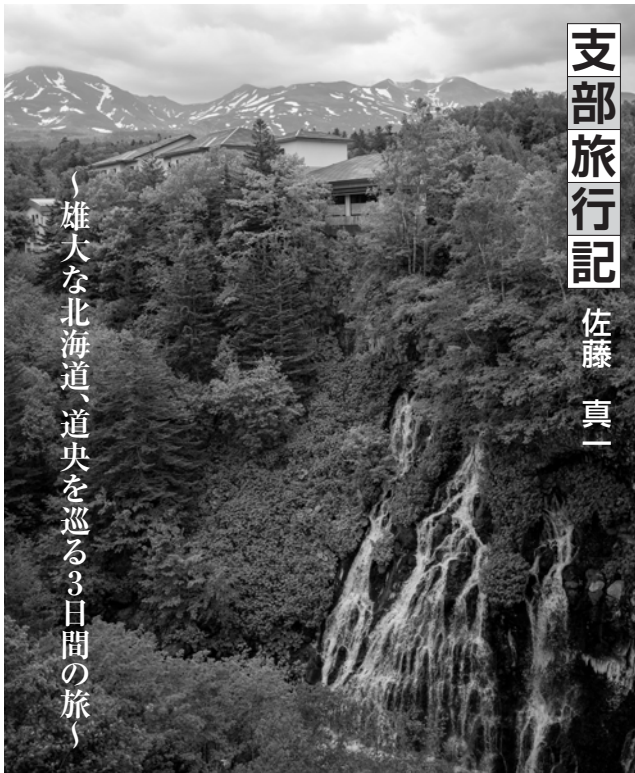
ハローコール

0570-008656

平日9時～19時

※土日、祝日、年末年始（12月31日～1月3日）はご利用いただけません。

※電話番号のお掛け間違いにご注意ください。



初夏の爽やかな季節となった6月、恒例の支部旅行が開催され、本年度は北海道の道央方面へ行ってきました。来年度より厚生委員長を拝命するにあたり、本年の素晴らしい旅の思い出を、企画・運営してくださった厚生委員会の皆様への感謝と共に、ここに綴らせていただきます。

【1日目】期待を胸に北の大地へ、富良野の夜

伊丹空港から新千歳空港へ。バスに乗り込むと、どこまでも続くかのような直線道路が目前に広がり、これぞ北海道だということを印象付けられました。

最初の訪問地「ノーザンホースパーク」では、往年の名馬や愛らしいポニーと触れ合い、穏やかな時間を過ごしました。昼食にいただいた「釜めし いちえ」の釜めしは、蓋を開けた瞬間の出汁の香りが素晴らしい



く、旅の始まりを祝うお酒と共に美味しくいただきました。

宿泊先である「新富良野プリンスホテル」の夕食は、和洋中の豪華なビュッフェ。シェフが目の前で切り分けるローストビーフや、甘みの強い旬のアスパラガスなど、北海道ならではの味覚を心ゆくまで堪能いたしました。夜は有志で部屋に集い、尽きることのない談笑と共に、富良野の夜は更けていきました。

また、ホテル自慢の温泉は格別でしたが、浴場までの道のりが長く、これもまた印象深い思い出の一つとなっております。

【2日目】富良野・美瑛の絶景と、十勝川の名湯

2日目は、富良野を代表する景勝地「ファーム富田」から始まりました。ラベンダーが一面に咲き誇る時期には少し早かったものの、名物のラベンダーソフトクリームは格別の味わいで、富良野の風を感じることができました。

続いて訪れた「白金青い池」では、その名の通り神秘的な青色を湛える水面に、旅行者の皆様が熱心にカメラを向けておりました。

昼食には、北海道名物のジンギスカンに挑戦。独特の風味に少々戸惑いもありましたが、これもまた旅の良い経験として思い出深く残っております。

午後は「ふらのワイン」の工場を見学し、その後、十勝川温泉へ。世界でも珍しい「モール温泉」は、植物由来の有機物を多く含む滑らかな泉質で、旅の疲れを芯から癒やしてくれました。特に、立ったまま入れる深さのある露天風呂は開放感があり、心からリラックスできるひとときでした。

夜の宴会の後、せっかく北海道へ来たということで有志でラーメンを食べに帯広の街へ。週末にもかかわらず落ち着いた街の雰囲気も、また旅情を誘うものでした。

【3日目】幸福への願いと、旅の記憶

最終日は、縁起の良い名前で知られる「旧国鉄幸福駅」からスタート。我々も「愛国駅から幸福駅ゆき」の切符を購入し、今後の幸福を願いました。その後は、

六花亭が運営する「六花の森」を散策し、美しい庭園と買い物などを楽しみました。

また、帯広畜産大学の構内にある「上川大雪酒造」という大変珍しい酒蔵も見学させていただき、その土地ならではの日本酒造りに触れることができたのは、非常に興味深い体験でした。

昼食に名物の豚丼をいただいた後、空港へと向かう帰路、予期せぬ出来事が起こりました。高速道路が故障車により通行止めとなり、フライトの時間を案じましたが、バスの運転手の方の的確な判断と長年の経験に裏打ちされた運転技術により、無事に空港へ到着することができました。プロの仕事ぶりに感服するとともに、この出来事もまた忘れられない旅的一幕となりました。



■結びに

まずは、この素晴らしい旅行を企画・運営してくださった現厚生委員会の皆様に、心より御礼申し上げます。皆様のおかげで、誠に充実した思い出深い3日間を過ごすことができました。

来年度より、この大役を引き継がせていただきます。皆様が築かれたこの素晴らしい親睦の機会を大切に、来年もまた参加者の皆様に心から喜んでいただける旅行を目指し、精一杯努めてまいります。

ご参加の皆様、誠にありがとうございました。また来年、皆様と元気で会えることを楽しみにしております。





支 部 だ よ り

会員状況

(令和7年8月現在)

正会員:45名 準会員:2名 税理士法人:3社

準会員の退会

本 田 妙 子

西淀川支部
ホームページ

支部ホームページのアドレスをお知らせします。
<http://www2.kinzei.or.jp/~nisiyodo/>

編 集 後 記

厳しい暑さが続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。支部報「西淀川」第83号を最後までご愛読いただき誠にありがとうございます。本号も沢山のご寄稿を賜り感謝申し上げます。今号より、編集を担当させていただくこととなりました山岡です。右も左もわからない私に対して、いつも優しく声をかけてくださり、何かと気にかけていただいて、本当にありがたく思っております。この場を借りて感謝申し上げます。

これまで長きにわたり編集を担当されてきた銭原先生の後を引き継ぐこととなり、身の引き締まる思いです。親しみやすい会報となるよう努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

残暑厳しき折、皆さまのご健勝とご自愛を心よりお祈り申し上げます。